DENON

スピーカー システム
SPEAKER SYSTEM

SC-A77XG
SC-C77XG
SC-T77XG

取扱説明書／ OPERATING INSTRUCTIONS

安全にお使いいただくために―必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

Read this manual carefully to ensure that you take full advantage of all this unit has to offer.
Keep the manual for future reference should any doubts or problems arise.

―目次―

―TABLE OF CONTENTS ―

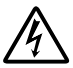
安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

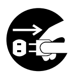
絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は禁止を行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

バスレフダクト孔口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（スピーカー・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
・湿気やほこりの多いところ
・直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■ 取り扱いについて

通風をさまたげない

内部の温度上昇を防ぐため、次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

・あお向けや横倒し、逆さまにする
・押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

保証とサービスについて（日本国内のみ有効、Effective only in Japan）

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。詳しくは保証書をご覧ください。

※ 修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。

※ 当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

使用上のご注意

・長時間直射日光を受ける場所やストーブなどの暖房器具の近くに置くことは避けてください。
・湿気の多い場所やホコリの多い場所に置きますと、故障の原因になる場合があります。
・キャビネットは殺虫剤が付着したり、ベンジン、シンナーなどの溶剤で拭いたりしますと、変質したり変色することがありますのでご使用は避けてください。
また、汚れを拭き取るときは柔らかい布または付属の拭き布を使い、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
・スピーカーシステムの最大許容入力とは、一般のプログラムソースにおいて短時間なら加えることのできる入力ですのでこの値以上の入力を加えないようにしてください。
・ご使用になるアンプによって出力端子が異なることがありますので、アンプの取扱説明書をお読みいただき確認してください。
・アンプのトーンコントロールなどを最大にして、大出力で使用すると出力波形に歪現象などが現れることがありますのでこのような使用は避けてください。
・テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定な信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。
・スピーカーシステムを移動させる場合、サランネットに強く触れますとスピーカーを破損させることがありますので、ご注意ください。

CAUTIONS ON USE

- Avoid placing the speaker systems in places exposed to direct sunlight for long periods of time or near heaters or other heating equipment.
- Placing in humid or dusty places may result in damage.
- Exposing the cabinet to insecticides or wiping it with benzene, thinner or other solvents may result in damage or discoloration to the finish. Use a soft cloth or wiping cloth included to wipe any dirt off the cabinet. Use cloths containing chemical substances with care.
- Do not apply inputs exceeding the speaker system's max. input (the input which can be applied a short period of time with regular program sources).
- The output terminals may differ depending on the amplifier being used. Consult the amplifier's instructions.
- Clipping or other problems may occur in the output waveform when using the speaker systems with a high output and the amplifier's tone controls set to the maximum. Avoid using them under these conditions.
- Never play such special signals as a tape recorder's fast-forwarding signals or sine waves continuously.
- When moving the speaker systems, be careful not to apply excess force to the speaker nets. Doing so could damage the speaker units.

取り扱い上のご注意

警告

・天井や壁への取り付けは安全性確保のため、専門施工業者へ依頼してください。
・接続コードを足や手に引っ掛けて本機を落下させることのないように、コードは必ず壁などに固定してください。
・取り付け後は必ず安全性を確認してください。
また、その後定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け場所、取り付け方法の不備によるいかなる損害、事故についても当社はいっさいその責を負いません。

CAUTIONS ON HANDLE

WARNING

- In case of ceiling or wall installing, please ask a specialist to make it safely.
- Fix cord to prevent being caught on it that might make loudspeakers fall down.
- Please check and confirm again after the loudspeaker would have been installed. Do not forget a periodical inspection also. DENON does not take any responsibility for any accident caused by unsteady installing.

外観仕上げに関するご注意

ご注意

・本機のキャビネットは天然木材の突き板を使用し、塗装しております。このため１台毎に柄．色の仕上がりは異なりますので、あらかじめ御承知おきください。

付属品について

・梱包箱の中には本体とは別に次の品物が入っています。

■ スピーカーシステム（SC-A77XG）

① 接続コード（長さ：約 10m）.................... 1
② すべり止め（１シート４枚）.................... 1
③ 拭き布 1
④ 取扱説明書（本書）.................... 1
⑤ 保証書 1
⑥ 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表....... 1

■ スピーカーシステム（SC-C77XG）

① 接続コード（長さ：約 3m）.................... 1
② 台座.................... 2
③ 拭き布 1
④ 取扱説明書（本書）.................... 1
⑤ 保証書 1
⑥ 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表....... 1

■ スピーカーシステム（SC-T77XG）

① 接続コード（長さ：約 3m）.................... 1
② すべり止め（１シート６枚）.................... 1
③ 拭き布 1
④ スパイク 6
⑤ スパイク受皿.................... 6
⑥ 取扱説明書（本書）.................... 1
⑦ 保証書 1
⑧ 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表....... 1

NOTE FOR OUTLOOKING FINISH

CAUTION

• The cabinet of this speaker systems are finished by using natural ply wood and sprayed. Please note that the colour and the grain deviate and differ at every unit.

ACCESSORIES

• Check that the following parts are included in the package aside from the main unit:

■ **Speaker system (SC-A77XG)**

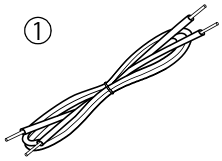
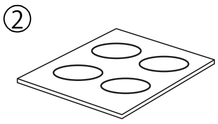
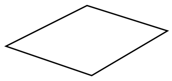
① Cord (approx. 10m) 1
② Anti-slip pad (4pcs./1sheet). 1
③ Wiping cloth. 1
④ Operating instructions 1
⑤ Denon service network 1

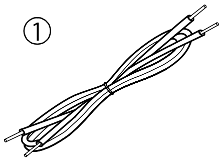
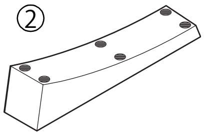
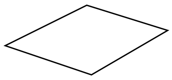
■ **Speaker system (SC-C77XG)**

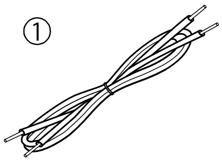
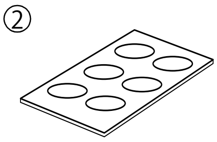
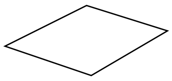
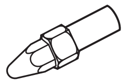
① Cord (approx. 3m) 1
② Base 2
③ Wiping cloth. 1
④ Operating instructions 1
⑤ Denon service network 1

■ **Speaker system (SC-T77XG)**

① Cord (approx. 3m) 1
② Anti-slip pad (6pcs./1sheet). 1
③ Wiping cloth. 1
④ Spike 6
⑤ Spike saucer 6
⑥ Operating instructions 1
⑦ Denon service network 1

スピーカーシステム /Speaker system（SC-A77XG）		
① 	② 	③ 

スピーカーシステム /Speaker system（SC-C77XG）		
① 	② 	③ 

スピーカーシステム /Speaker system（SC-T77XG）				
① 	② 	③ 	④ 	⑤ 

ご注意

・本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

CAUTION

• As an aid to better understanding the operation method, the illustrations used in this manual may slightly differ from the actual set.

音のエチケット



◎ 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。

◎ 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。

◎ ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

◎ 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間のカラオケと音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

◎ 窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

◎ お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

設置の際のご注意

スピーカーシステムの音質は、部屋の大きさ・形態（洋室、和室）・設置のしかたによって変わりますので、次のことに留意して設置してください。

・床に直接置いて低音域が不自然に強調されたりする場合にはコンクリートブロックなどの固い台の上にのせるようにしてください。

・スピーカーシステムをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリングを起こすことがありますので、ご注意ください。

・スピーカーシステムの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。

・本機はテレビとの近接使用が可能な防磁形スピーカーシステムですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合には一度テレビの電源を切り、15 分～ 30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁回路により、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合には、スピーカーをさらに離してください。

・近くに磁石などの磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますので、ご注意ください。

ご注意

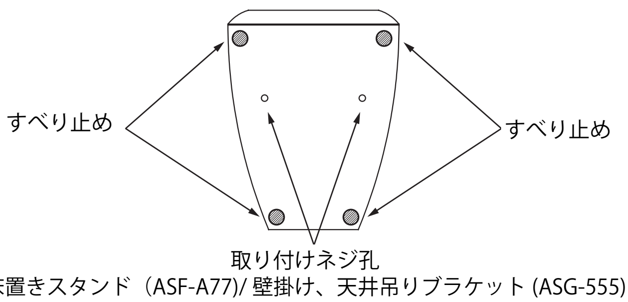
・安全にお使いいただくため、本体の上に物をのせたり、寄り掛かったりしないでください。

・スピーカー側面に力が掛かった場合、スピーカーが転倒や落下する恐れがあります。けがなど重大事故の原因になりますので、十分注意してください。

・接続コードを手や足に引っ掛けて本機を落下させることのないように、接続コードは固定してください。

■ スピーカーシステム（SC-A77XG）

・台などの上に設置する場合、付属のすべり止め（厚さ約 2mm のコルク）を底面の 4ヵ所に貼ってください。（下図参照）



（スタンドまたはブラケットに取り付ける場合）

スピーカーシステム（SC-A77XG) の底面のネジ孔（120mm 間隔）は別売りの床置きスタンド（ASF-A77)、壁掛け / 天井吊りブラケット（ASG-555）に取り付けることができます。取り付けに際しましては、ブラケットやスタンドの説明書に従い、十分注意してしっかりと設置してください。

CAUTIONS ON INSTALLATION

The tone character produced by speaker systems depends on such factors as the size and type of room, the method of installation, etc. Pay attention to the following points when installing the speaker systems.

• If the bass sound is overemphasized when the speaker systems are installed directly on the floor, set them on concrete blocks or other hard stands.

• Note that howling may be produced if the speaker systems are placed on the same stand or shelf as a record player.

• If there are walls or glass doors behind or in front of the speaker systems, use heavy curtains, etc., to prevent resonance and reflection.

• This is a low leakage flux type speaker system which can be used near television sets, etc., but with some TV sets the colors may become blotchy. If this happens, turn off the TV's power, wait 15 to 30 minutes, and turn the power back on. The TV's self demagnetizing circuit will improve the picture. If the colors are still blotchy, move the speaker systems further away from the TV.

• Also note that if there is a magnet or any device generating magnetic force nearby, interaction between this device and the speaker systems can cause the colors on the TV to become blotchy.

WARNING

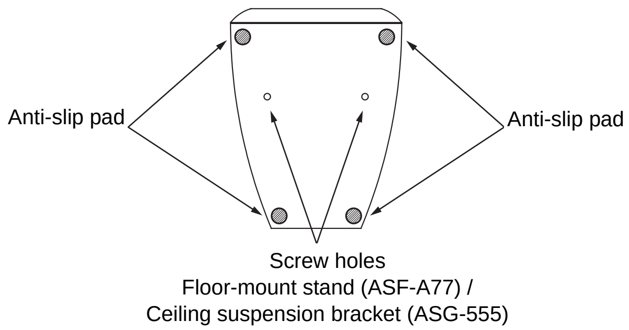
• For your safety, do not put anything nor lean yourself on the loudspeakers.

• Do not push the loudspeaker from aside to protect it from topping that may cause serious accident.

• Fix cord to prevent being caught on it and making loudspeakers topping down.

■ Speaker system (SC-A77XG)

• When setting on a shelf, etc., attach the four included anti-slip pads (pieces of cork 2 mm thick) to the bottom. (Refer to diagram below.)



(When mounting on a stand or brackets)

The speaker system (SC-A77XG) can be mounted to a separately sold floor-mount stand (ASF-A77),Ceiling suspension bracket (ASG-555) using the screw holes on the bottom (120 mm intervals). When mounting on a stand or bracket, follow the instructions included with the bracket or stand and be very careful to mount the speaker system securely.

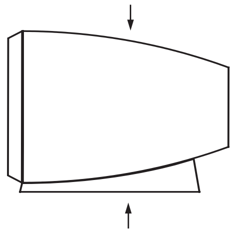
■ スピーカーシステム（SC-C77XG）

・スピーカーシステム（SC-C77XG）は付属の台座を使用することによって水平、上向き（約 10 度）のうちお好きな角度で本体を設置することができます。

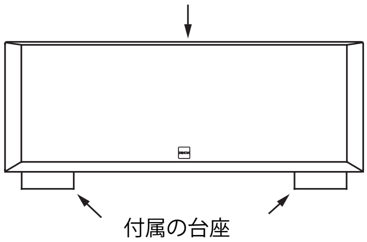
水平に設置して使用する場合

付属の台座を使用し、下図のように設置してください。

[スピーカーシステム（SC-C77XG） 側面図]



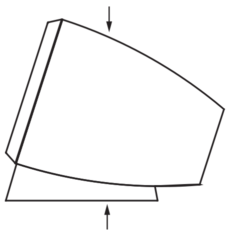
[スピーカーシステム（SC-C77XG）前面図]



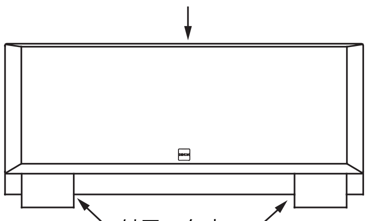
上向きに角度を付けて設置する場合

付属の台座を使用し、下図のように設置してください。

[スピーカーシステム（SC-C77XG） 側面図]



[スピーカーシステム（SC-C77XG）前面図]



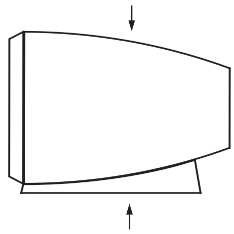
■ Speaker system (SC-C77XG)

• The included anti-slip pads or base can be used to set the speaker systems (SC-C77XG) at one of three angles: level, slanting upward (at about 10°) or slanting downward (at about 10°).

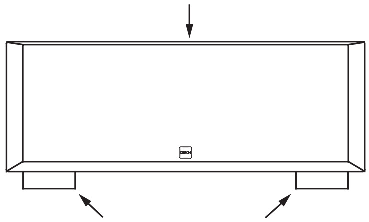
To set the speaker system level

Use the included base and set as shown on the diagram below.

[Speaker system (SC-C77XG) Side view]



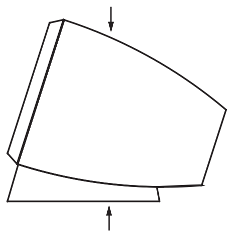
[Speaker system (SC-C77XG) Front view]



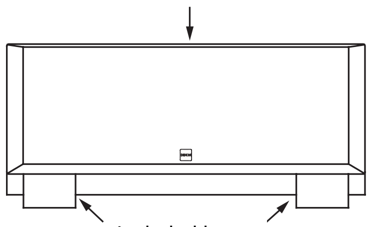
To set the speaker system at an angle slanting upwards

Use the included base and set as shown on the diagram below.

[Speaker system (SC-C77XG) Side view]



[Speaker system (SC-C77XG) Front view]



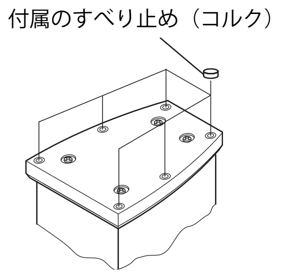
警告

・付属の台座を使用して設置する場合は、しっかりと安定した場所に設置してください。

・不安定な場所に設置すると、転倒や落下によるけがなど重大な事故になる恐れがあります。

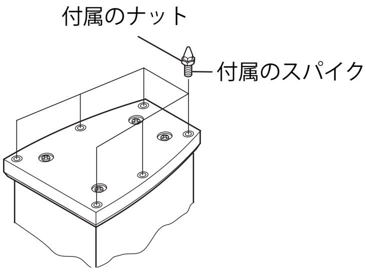
■ スピーカーシステム（SC-T77XG）

・スピーカーシステム（SC-T77XG) を設置する場合には、お好みにより付属のすべり止め（コルク）、または付属のスパイクを底面の６ヵ所に取り付けることができます。（下図参照）



・すべり止め（コルク）の取り付け方法（上図参照）

・底面のねじ部（6ヵ所）の上に付属のすべり止め（コルク）を取り付けてください。



・スパイクの取り付け方法（上図参照）

・底面のねじ穴部（6ヵ所）に付属のスパイクのねじ部を締め付けてください。

・設置の際にがたつきが生じたときには、スパイクのナットを回し、調節してください。かたくて回しづらいときは、お手持ちのペンチやスパナをご使用ください。

・床や置台に傷を付けないため、スパイク部に付属のスパイク受皿を設置することもできます。

ご注意

・取り付けの際に、スパイクの先端等でけがなどしないように注意してください。

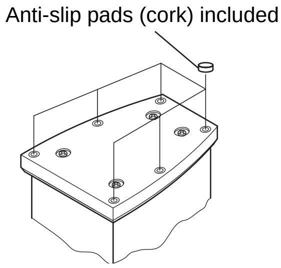
・本体（SC-T77XG）を設置する際には、誤って落としてけがなどしないように、取り扱いには十分注意してください。

CAUTION

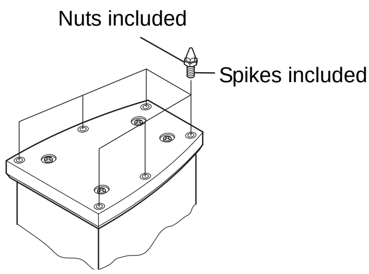
- Use the included base and set in a firm stable place.
- If the speaker system is set in an unstable place, it could tip over or fall, possibly resulting in serious accidents.

■ Speaker system (SC-T77XG)

- When installing a speaker system (SC-T77XG), mount the included anti-slip pads (cork) or the included spikes to six points on the bottom of the unit. (Refer to diagram below.)



- **Mounting anti-slip pads (cork) (Refer to diagram above.)**
- Mount the included anti-slip pads (cork) over the six screw holes on the bottom of the unit.



- **Mounting the spikes (Refer to diagram above.)**
- Fasten the included spikes into the six screw holes on the bottom of the unit.
- Please adjust NUTs for fixing firmly.
  A spanner or the like may help you in case of difficulty.
- You can use SPIKE SAUCERs included to prevent catches on the floor.

WARNING

- Be careful not iniured (at the tio of a spike etc.) in the case of attachment.
- Please handle the main unit (SC-T77XG) with care not to harm yourself by dropping.

接続方法

★ 接続の際はアンプの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

スピーカーシステムをアンプに接続する場合は、必ずアンプの電源を切ってからおこなってください。

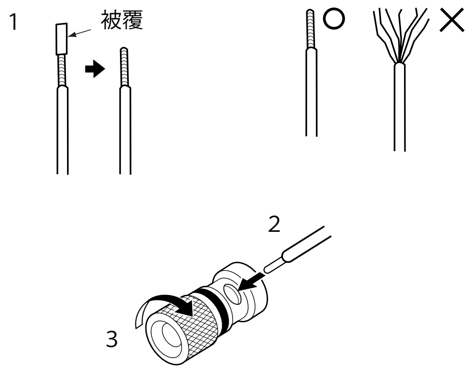
・スピーカーシステム背面の入力端子（下図参照）とアンプのスピーカー出力端子を付属の接続コードで接続します。

・左チャンネルのスピーカーシステムはアンプの L 端子へ、右チャンネルのスピーカーシステムはアンプの R 端子へ、極性（＋、－）を確認して接続します。

・極性を間違えると、位相が変わったり低音域のない不自然な再生音になってしまいます。また、スピーカー端子のネジがしっかり締まっていることを確認してください。

スピーカー端子への接続方法

1. 接続コードの先端の被覆をはがし、芯線がバラけてショートしないよう、指でしっかりよじります。
2. 端子を左に回してゆるめ、接続コードをスピーカー端子の穴に差し込みます。
3. 端子を右に回して締めつけます。
   芯線部分が穴からはみ出ていないか確認してください。



接続が終わったら、スピーカーコードを軽く引っ張り、確実に接続されているか確認してください。

CONNECTIONS

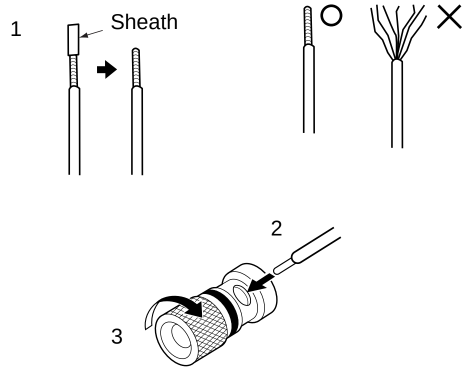
★ Before connecting, please consult with the instructions of your amplifier and follow them also.

Be sure to turn the amplifier's power off when connecting the speaker systems.

- Use the included cables to connect the input terminals on the back of the speaker systems (see diagram) to the amplifier's speaker output terminals.
- Connect the speaker system for the left channel amplifier's "L" terminals, the one for the right channel to the amplifier's "R" terminals, matching the polarities (" ＋ " and " － " marks).
- Inverting the polarities will result in unnatural sound, with the phase off or no low bass sound. Also check that all knobs are tightly fastened.

Connecting the speaker terminals

1. Peel off the sheath from the tip of the connection cord, then firmly twist the wires by hand so that they do not stick out and cause short-circuits.
2. Loosen the terminal by turning it counterclockwise, then insert the connection cord into the hole in the speaker terminal.
3. Turn the terminal clockwise to tighten it.
   Check that none of the core wires are sticking out of the hole.



Once the connections are completely, gently pull on the speaker cords to make sure they are securely connected.

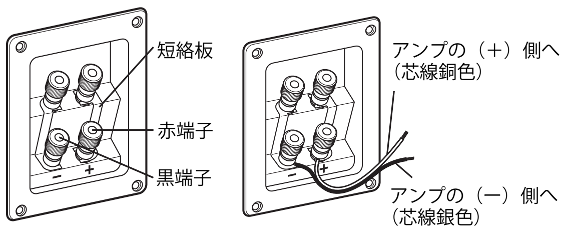
1. スピーカーシステム (SC-A77XG/SC-C77XG/SC-T77XG)（通常の使いかた）

・スピーカーシステム背面の入力端子（下図参照）とアンプのスピーカー出力端子を接続コードで接続します。

通常の使いかた ... 右側赤端子が（＋）、左側黒端子が（－）です

短絡板が差し込まれていることを確認します。

スピーカー端子のねじをゆるめてコードの芯線を差し込み、ねじを締めてください。



注意：スピーカーコードの芯線どうしを接触させないでください。

（バイワイヤリングによる使いかた）

本機はバイワイヤリング対応の入力端子を装備していますので、スピーカーコードを 2 本用意することにより、より素晴らしい音場再生をお楽しみいただけます。（ネットワーク回路を内蔵していますので、チャンネルディバイダーなどは必要ありません。）

・まずスピーカーコードを 2 本ご用意ください。

・本機の入力端子は、上側がツィーター／スーパーツィーター用端子、下側がウーハー用端子です。初めにすべての入力端子のねじをゆるめ、必ず短絡板を 2 本とも外し、上・下それぞれの端子にコードをつないでください（次頁参照）。コードのもう一方の端子（アンプ側）は、上下のコードの先端を＋側どうし、－側どうしをそれぞれ 1 つにまとめ、アンプの＋側、－側に接続してください。

・お手持ちのアンプのスピーカー出力が A、B、2 系統あれば、ツィーター側を A、ウーハー側を B（またはその逆）に接続することもできますがこの場合、アンプのスピーカー切り替えスイッチは「A ＋ B」の位置にしてください。「A ＋ B」のないアンプ（A、B 同時に鳴らすことができないアンプ）、または A+B にするとスピーカーが直列接続になるアンプでは、図のように 2 本のコードの先端をひとまとめにして A、B どちらかの端子に接続してください。

・さらに発展した楽しみかたとして、アンプを 2 台お持ちであれば、バイアンプ駆動も可能です。バイアンプ駆動の際には、2 台のアンプの出力レベルを同じにしてください。

注意：アンプの出力レベルが異なりますと、高音または低音のみが強調され、最良の音質バランスが得られない場合があります。

・最後にアンプ側・スピーカー側とも、すべての端子の極性（＋、－）および左右（L、R）の接続が間違っていないか、またすべてのスピーカー端子のねじにゆるみがなく、きちんと締まっているかどうか確認してください。

・バイワイヤリングでご使用の場合も、本機のインピーダンスは変わることはありません。

1.Speaker system (SC-A77XG/SC-77XG/SC-T77XG) (For normal use)

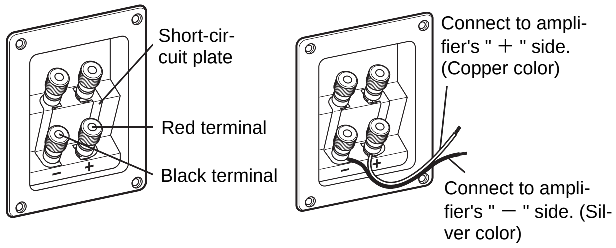
• Use the included cables to connect the input terminals on the back of the speaker systems (see diagram) to the amplifier's speaker output terminals.

Connections. . . . The red terminals on the right side are the" ＋ " terminals, the black ones on the left side the "－" terminals.

For normal use

Loosen the terminal knobs and insert the short-circuit plates.

Loosen the terminal knobs, insert the cords' core wires, then tighten the konobs.



NOTE : Make sure the core wires do not touth each other.

(Bi-wiring Connections)

These speaker systems are equipped with input terminals allowing bi-wiring, so two speaker cords can be used for even greater sound. (A network circuit is included, so there is no need for a channel divider.)

• First prepare two speaker cords. (When bi-wiring, we recommend using cords with excellent transfer characteristics.)

• The top set of input terminals are for the tweeter and super tweeter, the bottom set for the woofer. First loosen all the knobs, remove both short-circuit plates, then connect the speaker cords to the respective terminals. (See diagram next page.) Be sure to remove both short-circuit plates. Twist the other ends (the sides to be connected to the amplifier) of the two cords for the " ＋ " side (red) together, and do the same for the two cords for the " ＋ " side (black).

• If your amplifier has two sets of speaker outputs (A and B), the tweeter and squawker can be connected to set A, the woofer to set B (or vice versa). If this is done, set the amplifier's speaker selector switch to the "A+B" position. If the amplifier does not have an "A+B" position (in other words, if it is not equipped to play the two sets of speakers simultaneously), twist the ends of the two cords together and connect them to either the A or B speaker terminals.

• For even more advanced enjoyment, dual-amplifier driving can be used if you have two amplifiers. When doing this, be sure to set the two amplifiers so that their output levels are equal. if not, the sound will be off balance, with either the medium and high frequencies or the low bass frequencies overemphasized.

• Finally, check that all connections are correct ("＋" and "－" sides, left and right channels) on both the amplifier and the speaker systems, and that all the knobs are tight and the cords securely fastened.

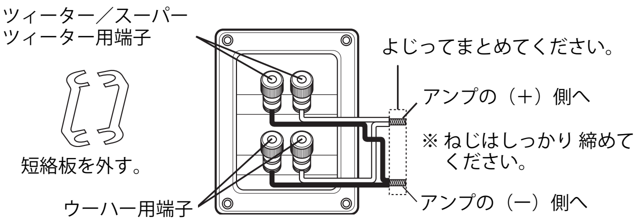
• The overall impedance of these speaker systems is 6 ohms, so bi-wiring is possible as long as your amplifier's applicable load impedance is 6 ohms or less.

バイワイヤリングによる使いかた

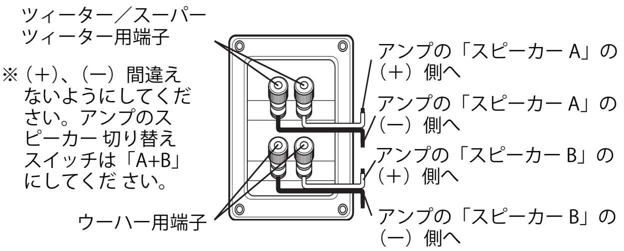
注意：短絡板は必ず最初に外してください。

・「スピーカー　A＋B」のないアンプの場合

・「スピーカー　A＋B」にすると、スピーカーが直列接続になるアンプの場合



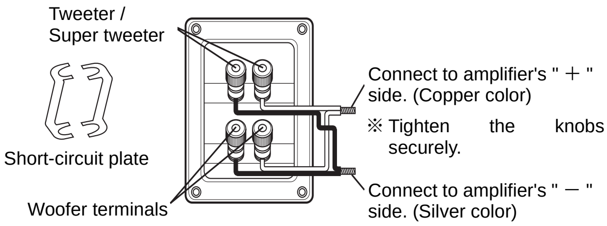
・「スピーカー　A＋B （並列接続）」アンプの場合



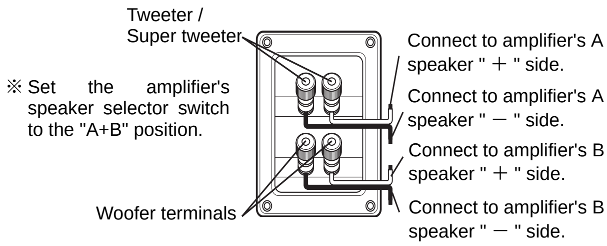
Connections for Bi-wiring

NOTE: Be sure to remove the short-circuit plates first.

• For amplifiers with no "A+B" posision



• For amplifiers with no "A+B" posision



サランネットのはずしかた

・スピーカーシステム前面のサランネットは、取り外すことができます。

・取り外すときは、サランネットの両側を持って手前に引いてください。

・取り付けるときは、サランネットの穴部とキャビネットの突起とを合わせて押し込んでください。

お手入れについて

・キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、付属の拭き布を使用して軽く拭き取ってください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

・ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

REMOVING THE GRILLE NET

• The net on the front of the speaker system is detachable.

• To remove it, grasp it on both sides and pull it towards you.

• To attach the net, line up the plastic holes of the net with the pegs on the cabinet and press in.

CLEANING

• Use a wiping cloth attached and wipe lightly to remove dirt from the cabinet and operation panel.
When using chemically treated cloths, follow the precautions that have been written for them.

• Do not use benzene, thinners, or other organic solvents or insecticides on the main unit since they may cause a change in quality or color.

仕様

・SC-A77XG

形式	：3 ウェイ、3 スピーカー バスレフ型 / 防磁設計 ブックシェルフ
使用スピーカー構成	：ウーハー（16.5cm コーン形×1 ） ツィーター（2.5ｃｍ ドーム形×1） スーパーツィーター（リーフ形×1）
入力インピーダンス	：6Ω
最大許容入力	：100W (EIAJ)、200W (PEAK)
クロスオーバー周波数	：3kHz、15kHz
再生周波数帯域	：40Hz ～ 200kHz
平均出力音圧レベル	：88dB (1W・1m)
寸法	：210(幅) × 360(高さ) × 273 (奥行き)mm
質量	：6.7kg

・SC-C77XG

形式	：3 ウェイ、4 スピーカー バスレフ型 / 防磁設計
使用スピーカー構成	：ウーハー（16.5cm コーン形× 2） ツィーター（2.5ｃｍ ドーム形× 1） スーパーツィーター（リーフ形× 1）
入力インピーダンス	：6Ω
最大許容入力	：120W (EIAJ)、200W (PEAK)
クロスオーバー周波数	：3kHz、15kHz
再生周波数帯域	：35Hz ～ 200kHz
平均出力音圧レベル	：90dB (1W・1m)
寸法	：550(幅) × 210(高さ) × 273 （奥行き)mm
質量	：10.3kg

・SC-T77XG

形式	：3 ウェイ、4 スピーカー バスレフ型 / 防磁設計 / フロア型
使用スピーカー構成	：ウーハー（16.5cm コーン形×2） ツィーター(2.5ｃｍ ドーム形×1) スーパーツィーター（リーフ形×1）
入力インピーダンス	：6Ω
最大許容入力	：120W (EIAJ)、200W (PEAK)
クロスオーバー周波数	：3kHz、13kHz
再生周波数帯域	：27Hz ～ 200kHz
平均出力音圧レベル	：90dB (1W・1m)
寸法	：270(幅) × 1130(高さ) × 325 （奥行き)mm（台座含む）
質量	：24.8kg

※ （EIAJ）：（社）電子情報技術産業協会（略称 JEITA）が制定した規格です。

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※ 『防磁設計』とは（社）電子情報技術産業協会（略称 JEITA) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

SPECIFICATIONS

• SC-A77XG

Type	: 3-way, 3-speakers Reflex box / Low-leakage-flux
Speakers	: 16.5cm cone bass-mid × 1 2.5cm dome high range × 1 Super-high range × 1
Input impedance	: 6 Ω/ohms
Max. input	: 100 watts (IEC), 200 watts (PEAK)
Crossover frequecy	: 3 kHz,15 kHz
Frequency range	: 40Hz~200 kHz
Sensitivity	: 88 dB (1watt・1m)
Dimensions	: 210(W) × 360(H) × 273(D)mm
Mass	: 6.7 kg

• SC-C77XG

Type	: 3-way, 4-speakers Reflex box / Low-leakage-flux
Speakers	: 16.5 cm cone bass-mid × 2 2.5cm dome high range × 1 Super-high range × 1
Input impedance	: 6 Ω/ohms
Max. input	: 120 watts (IEC), 200 watts (PEAK)
Crossover frequecy	: 3 kHz,15 kHz
Frequency range	: 35 Hz~200kHz
Sensitivity	: 90 dB (1watt・1m)
Dimensions	: 550(W) × 210(H) × 273(D)mm
Mass	: 10.3 kg

• SC-T77XG

Type	: 3-way, 4-speakers Reflex box / Low-leakage-flux
Speakers	: 16.5 cm cone bass-mid × 2 2.5cm dome high range × 1 Super-high range × 1
Input impedance	: 6 Ω/ohms
Max. input	: 120 watts (IEC), 200 watts (PEAK)
Crossover frequecy	: 3 kHz,13kHz
Frequency range	: 27 Hz~200 kHz
Sensitivity	: 90 dB (1watt・1m)
Dimensions	: 270(W) × 1130(H) × 325(D)mm
Mass	: 24.8 kg

※ For improvement purposes, specifications and design are subject to change without notice.

MEMO:

MEMO:

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　　社　　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー　14F

お客様相談センター　TEL：（03）6731-5555
受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：	年　　月　　日

Printed in China　　00D 511 4282 104